

倉敷市立短期大学中長期ビジョン

倉敷市が設置する公立短期大学として、本学が将来あるべき姿を明確化し、本学の進むべき方向性を学内外に示すことによって本学の理念・目的を実現するために、倉敷市の掲げる計画・施策等に則して、令和5年度から令和9年度までの5年間の本学の中長期ビジョンを定めます。なお、近年は高等教育を取り巻く環境が急速に変化していることから、この中長期ビジョンは倉敷市の計画・施策等や学内における取り組み状況等を踏まえ、倉敷市立短期大学企画運営協議会を責任組織として各学科、部局、委員会等で恒常的に見直しを行い、毎年改善を加えます。

1 短期大学の中長期ビジョン ～「地域に開かれ、地域と協働する市立短期大学」～

倉敷市立短期大学の理念（「地域に密着した高等教育機関として、幅広い教養と創造力・実践力を身につけた人材を育成するとともに、地域の発展に寄与する。」）および目的（「保育及び服飾美術に関する専門的な理論と実務的な技能の教授及び研究を行うことにより、教養豊かな社会人を育成することを目的とする。」）を実現するために、倉敷市全体の長期計画である「倉敷市第七次総合計画」（令和3年度～12年度）および中期計画である「倉敷市行政改革計画2020」を踏まえて、予定されている本学キャンパスの児島市街地移転に向けて、関係施設との複合化による教育研究機能の向上と魅力アップを図ります。また、市民および倉敷市とのより密接な連携による地域貢献を推進するとともに、効果的で機能的な大学運営の下、教職員の能力向上と組織力の強化に努めます。

2 責任組織

「倉敷市立短期大学企画運営協議会規程」（第3条「協議事項」）に基づき、企画運営協議会を中長期計画の策定と実施、改善等の責任組織とします。

また、服飾美術学科の教育改善を検討する組織であった「服飾美術学科再生会議」を拡大し、令和5年3月、短期大学全体の機能向上と魅力化を図る全学組織「学科再生タスクフォース」に改めました。「学科再生タスクフォース」は企画運営協議会の中に位置づけられ、中長期ビジョンの実現に企画運営協議会と一体化して取り組みます（資料「学科再生タスクフォース2022～再生会議2021結果を見据えて」）。

3 学科・専攻科のアクションプラン

魅力ある公立短期大学を目指すという全学ビジョンの下、保育学科、専攻科保育臨床専攻、服飾美術学科、専攻科服飾美術専攻における、令和5年度から令和9年度までの5年間のアクションプランを以下に示します。

(1) 保育学科・専攻科保育臨床専攻

- ① 受験生確保
 - ・ 市内高校へのアプローチの強化
 - ・ 入試内容の見直し
- ② 学生生活の支援および修業支援
 - ・ 保育学科学生への生活習慣やマナーに関する基本的かつ丁寧な対応
 - ・ 防災等への指導
- ③ 市内就職拡大
 - ・ 市内保育所・幼稚園等との連携強化
 - ・ 幼稚園教員認定試験準備研修・保育士試験準備研修の実施
- ④ 地域との連携
- ⑤ 学生、実習施設、所属機関、同僚、社会に対する倫理的責任の履行

【資料】「倉敷市立短期大学年報」

(2) 服飾美術学科・専攻科服飾美術専攻

- ① 受験生確保
 - ・ オープンキャンパスのシステム化
 - ・ 効果的な手段による広報の強化
- ② 学科組織力向上
 - ・ 特例適用認定専攻科の魅力化
 - ・ ブランドアイデンティティの明確化
 - ・ 教育計画表（カリキュラム）改善
 - ・ 研究力の向上
- ③ 市内就職強化
 - ・ 児島マッチングフェアの開催
 - ・ 資格検定の充実
- ④ 産学共同研究の充実

【資料】「倉敷市立短期大学年報」

令和4年度「服飾美術学科再生短中期計画ロードマップ」

令和4年度「服飾美術学科再生会議」議事録（第1回～第4回）

4 施設設備等の教育環境に関するアクションプラン

施設の利便性を高め、安全にかつ安心して大学施設が利用できるよう管理運営の改善を行います。新キャンパスの具体的な設計等については、倉敷市公共施設再編整備支援室を実務組織として計画が進められているところです。

【資料】「倉敷市公共施設個別計画」

「児島地区公共施設複合化基本構想案」

5 単年度計画・評価

① 短大全体

「重点課題への取組結果および自己評価」、他

② 学科

「年報」「短大組織自己点検評価報告書」、他

③ 事務局、学生部、附属図書館、子育てカレッジ

「組織目標設定シート」（倉敷市企画財政局）、「短大組織自己点検評価報告書」、他

④ 教員

「教員目標設定・成果ふり返しシート」、「年報」

⑤ 職員

「行動評価採点シート」、「目標管理シート」（倉敷市人事課）

（第1167回（令和5年度第13回）教授会）